

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	国際経済学（International Economics）		
ナンバリングコード	E20410	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 経済学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	選択必修:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E018801	クラス名	-
担当教員名	板倉 理友		
履修上の注意、 履修条件	ミクロ経済学とマクロ経済学を履修することが望ましい。 出席は毎回取ります。私語は慎んでください。		
教科書	プリントを配布します。		
参考文献及び指定図書	若杉隆平『国際経済学（現代経済学入門）第3版』 岩波書店 2009年		
関連科目	マクロ経済学、ミクロ経済学、経済分析		

○基本情報		
授業の目的	本講義は国際経済学とはいかなる学問なのかを学びます。国際経済学は一般に国際貿易、国際金融論、国際マクロの領域に分けられます。貿易はなぜ起こるのか、なぜ必要なのか、その仕組みはどうか等、及び開放経済の下での金融政策や財政政策はどうあるべきなのか等について体系的な見方を養うことを目的とします。	
授業の概要	なぜ、貿易が発生するのか、貿易の利益は何か等をまず理解をしてください。また、国際市場において均衡はどのように決定されるのか、経済成長と貿易の関係はどうか等々の国際貿易について学ぶと共に、為替レート等の国際金融論、市場介入効果の国際マクロについても学ぶ授業です。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①なぜ貿易が発生するのか説明できる。		10点	
【知識・理解】	②貿易政策の経済的効果を説明できる。 ③為替市場とは何かを説明できる。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	④交易条件がどのようにして決定されるのか説明できる。			10点
【思考・判断・創造】	⑤保護貿易論について、その是非を検討できる。	40点		
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
・60点以上で合格です。 ・授業の最後にレポートを課し、クラスルームかユニパに講評・解説をのせます。				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	国際経済学 (International Economics) 板倉 理友	授業コード	E018801
学修内容				
1. 比較優位の原理 貿易の歴史的な背景と意味、比較優位の原理とは何か、貿易の利益は何によって決まるか等を検討すると共に、実証分析の観点からみた比較優位論も学びます。				
予習	比較優位の原理について予習する。			約2時間
復習	配布したプリント内容(比較優位の原理)及び確認テストを復習する。			約2時間
2. 要素量賦存の命題 ヘクシャー・オリーンの定理とは何か、その定理の示唆すること、また要素価格均等化の定理、要素価格均等化の定理の意味等について学びます。				
予習	要素賦存の命題について予習する。			約2時間
復習	配布したプリント内容(要素賦存の命題)及び確認テストを復習する。			約2時間
3. 国際貿易の制度と歴史 貿易・産業政策の基準としての比較優位の原理、自由貿易の歴史、戦後の通商制度の主な仕組み、通商政策等について学びます。				
予習	国際貿易の制度と歴史について予習する。			約2時間
復習	配布したプリント内容(国際貿易の制度と歴史)及び確認テストを復習する。			約2時間
4. WTOの概要と問題点 ラウンド交渉の進め方、最恵国待遇、相互主義の原則、ガット多角的交渉の実際、関税率の引き下げから非関税障壁等々に渡るトピックスについて学びます。				
予習	WTOの概要と問題点について予習する。			約2時間
復習	配布したプリント内容(WTOの概要と問題点)及び確認テストを復習する。			約2時間
5. WTOから自由貿易協定へ 自由貿易地域と関税同盟の違い・共通点、貿易創出効果と貿易歪曲効果、FTAへの実体的なアプローチ等について学びます。				
予習	WTOから自由貿易協定について予習する。			約2時間
復習	配布したプリント内容(WTOから自由貿易協定へ)及び確認テストを復習する。			約2時間
6. 日本のFTA 日本の対応の変化、堂々巡りする農業問題、外国人労働力の受け入れ問題、問われる日本の外交戦略等について学びます。				
予習	日本のFTAについて予習する。			約2時間
復習	配布したプリント内容(日本のFTA)及び確認テストを復習する。			約2時間
7. 経済発展の原動力としての自由貿易 生産のフロンティアを拡張する貿易、貿易の利益とは何か、交換の利益と生産の利益、窮乏化成長のケース等について学びます。				
予習	経済発展の原動力としての自由貿易について予習する。			約2時間
復習	配布したプリント内容(経済発展の原動力としての自由貿易)及び確認テストを復習する。			約2時間
8. 自由貿易と保護主義(1) 幼稚産業保護の議論、産業調整のための一時的な保護政策、貿易摩擦と調整コスト等について学びます。				
予習	自由貿易と保護主義(1)について予習する。			約2時間
復習	配布したプリント内容(自由貿易と保護主義(1))及び確認テストを復習する。			約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	国際経済学（International Economics） 板倉 理友	授業コード	E018801
学修内容					
9. 自由貿易と保護主義（2） 戦略的貿易政策、その戦略的貿易政策はどこまで正しいかを検討し、またネットワーク型産業の隆盛と規模の利益について学びます。					
予習		自由貿易と保護主義（2）について予習する。			約2時間
復習		配布したプリント内容（自由貿易と保護主義（2））及び確認テストを復習する。			約2時間
10. 国際収支 国際収支表、その内容及び構成、経常収支、資本取引、国際収支勘定、国際収支の赤字、黒字とはどういうことを意味するのか等について学びます。					
予習		国際収支について予習する。			約2時間
復習		配布したプリント内容（国際収支）及び確認テストを復習する。			約2時間
11. 経常収支と国民所得勘定 経常収支の長期的な動向、経常収支と国民経済勘定との関係、対外純資産の蓄積とのリンク、貯蓄・投資バランスからの観点等について学びます。					
予習		経常収支と国民所得勘定について予習する。			約2時間
復習		配布したプリント内容（経常収支と国民所得勘定）及び確認テストを復習する。			約2時間
12. 国際取引と外国為替市場 国際決済と外国為替、外国為替市場とは何か、成長をとげる外国為替ビジネス、為替取引の自由化、国際決済のメカニズム等について学びます。					
予習		国際取引と外国為替市場について予習する。			約2時間
復習		配布したプリント内容（国際取引と外国為替市場）及び確認テストを復習する。			約2時間
13. 為替レートの決定 為替レートの予測が困難な理由、為替の理論を考察する意味、購買力平価説、アセットアプローチ、経常黒字国の通貨はなぜ切り上がるのか等について学びます。					
予習		為替レートの決定について予習する。			約2時間
復習		配布したプリント内容（為替レートの決定）及び確認テストを復習する。			約2時間
14. 国際マクロ経済学 マンデル・フレミング・モデルとは何か、マクロ経済モデルの開放化、金融政策の効果、財政政策の効果、不可能のトライアングル等について学びます。					
予習		国際マクロ経済学について予習する。			約2時間
復習		配布したプリント内容（国際マクロ経済学）及び確認テストを復習する。			約2時間
15. 為替レートと産業調整 為替レートの調整機能の限界、経常収支の改善効果、マーシャル・ラーナーの条件、Jカーブの理論、価格転嫁率と数量効果等について学びます。					
予習		為替レートと産業調整について予習する。			約2時間
復習		配布したプリント内容（為替レートと産業調整）及び確認テストを復習する。			約2時間
16. 期末試験 試験時間は60分で、計算問題を必ず1つは出題します。					
予習					
復習					